（複製：国土地盤情報データベース/（一財）国土地盤情報センター）

ボーリング柱状図

調査名　豊田公共下水道事業管渠実施設計業務委託に伴う地質調査

ボーリングNo.

事業・工事名　桝塚1号汚水幹線築造工事

シートNo.

ボーリング名	桝塚－3－12	調査位置	豊田市上郷町4丁目			北緯	
発注機関	豊田市　都市開発部　下水道建設課			調査期間	平成 4年 1月16日～ 4年 1月16日	東経	
調査業者名	日本上下水道設計株式会社　中部支社 電話（052-931-2421）	主任技師		現場代理人	コア鑑定者　西岡吉彦	ボーリング責任者	野村充男
孔口標高	DL +26.92m	角度	180° 上　90°　下 0°	方向	北 0°　270° 西　90° 東　180° 南	地盤勾配	水平 0°　鉛直 90°
総掘進長	14.45m	使用機種	試錐機　KR－100	エンジン　NF80	ハンマー落下用具　コーンプーリー	ポンプ	V－6

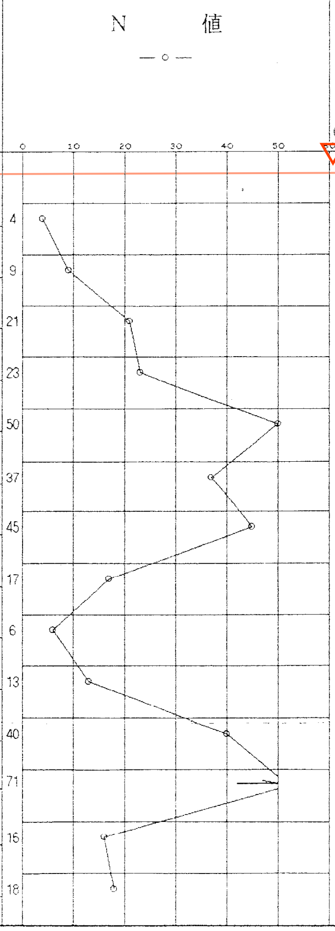
標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
26.57	0.35	0.35		埋土、	茶灰			0.00m～0.10mアスファルト 0.10m～0.35m礫混り砂質シルト
24.12	2.45	2.80		砂混り粘土	茶灰～黄灰		軟～硬	不均質　高塑性 φ2～5mmの砂礫含む 腐植物少量混入する
23.57	0.55	3.35		細砂	黄灰	中位		均等粒度　含水量少なくサラサラしている φ2～5mmの細礫が少量混入する
18.62	4.95	8.30		砂礫	淡黄灰～淡灰～黄灰	中位～密		φ5～30mmの礫が主体 φ50mm位が点在する マトリクスは花崗岩質の細～粗砂 風化した礫が混る 7.70m付近まで含水量非常に少なくサラサラしている 7.70m以深含水量多い
17.12	1.50	9.80		砂混り粘土	黄褐		中位	均質　高塑性 細礫が微量に混入する
15.82	1.30	11.10		砂質粘土	黄褐		硬	均質　低～中塑性 全体に砂分含む　所々砂分多く混入しシルト質細砂状を呈す
13.82	2.00	13.10		砂礫	褐灰	密～極密		φ10～30mmの礫が主体 φ50mm位の礫が点在する マトリクスは花崗岩質の細～粗砂 風化した礫が混る 含水量少ない
12.47	1.35	14.45		礫混りシルト混り砂	黄灰～黄褐	中位		砂は細～粗砂　砂粒子不均等 φ2～30mmの礫が混入する 花崗岩質　含水量中位

孔内水位 (m)／測定月日：1/16　7.70 ▽

▽対象地想定GL（DL+26.469）

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15 1.45	1	2	1	4/30	4
2.15 2.45	3	3	3	9/30	9
3.15 3.45	5	6	10	21/30	21
4.15 4.45	7	7	9	23/30	23
5.15 5.45	17	16	17	50/30	50
6.15 6.45	12	11	14	37/30	37
7.15 7.45	11	14	20	45/30	45
8.15 8.45	6	5	6	17/30	17
9.15 9.45	2	2	2	6/30	6
10.15 10.45	4	4	5	13/30	13
11.15 11.45	10	13	17	40/30	40
12.15 12.36	23	25	2/1	50/21	71
13.15 13.45	6	5	5	16/30	16
14.15 14.45	6	6	6	18/30	18



原位置試験　深度 (m)　試験名および結果

試料採取　深度 (m)　試料番号　採取方法

室内試験（　）

掘進月日　1/16